

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	農林水産総務課	氏名	渡部 有一朗
派遣先 団体名	四絡コミュニティーセンター		
<p>① 研修の日時</p> <p>(1) 平成26年6月27日(金) 8:30~17:15  (2) 平成26年7月4日(金) 8:30~17:15  (3) 平成26年7月10日(木) 8:30~17:15  (4) 平成26年7月14日(月) 8:30~17:15  (5) 平成26年7月25日(金) 8:30~17:15</p>  <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)</p> <p>(1) 史跡紹介資料作成</p> <p>地域住民が地元を誇りを持ってもらい、郷土意識をさらに高めてもらえるよう、四絡地区の神社、寺院、史跡を紹介するパワーポイントを作成しました。</p> <p>原稿案は職員の方が既に作成済みで、郷土資料を読みながら内容の補足を行ったり、実際に現地に行って写真撮影をしました。</p> <p>資料は冊子にして、小中学校へはふるさと学習の教材として利用してもらおうことを考えているとのことでした。</p> <p>(2) パソコン教室の指導</p> <p>四絡コミュニティーセンターでは、市民学習、文化・スポーツなどのレクリエーション、夏祭り等のイベントなど地域興しのための自主企画にも積極的に取り組んでいます。パソコン教室もその一環で、週2回実施されています。</p> <p>地域の高齢者、主婦の方など10名程度の参加者がご自身のパソコンを持ち込んで、連絡網の作成、婦人会の決算資料、催し物の案内文書などをワード、エクセル、パワーポイントとそれぞれの目的に応じたソフトを使って作成されます。その作成途中で行き詰まった時に操作方法の指導を行いました。</p> <p>指導が上手く出来なかったこともありましたが、参加者の疑問が解決したとき「ありがとうございました。」と言われたことがちょっと嬉しかったりもしました。</p> <p>(3) 広報配布</p> <p>月2回(毎月10日・25日)、コミセンの職員の方が四絡地区の約1,800世帯に市報や四絡</p>			

地区の広報誌を配布します。配布先は、地区の自治会長宅へ配布するのですが、それでも約180カ所あるので、丸1日かけての作業になります。

職員の方と一緒にその配布作業のお手伝いをさせていただいたのですが、車を使って細い路地を通して1戸1戸へ配布されるので、大変な労力を必要としますが、コミセンの職員の方は各戸へ配布するルートも頭の中に入っていて、スイスイと作業をされているように見えてましたが、体力勝負なので大変だと語っておられました。

### ③ 研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

ここ最近、地域の行事に加わる機会も少しずつ増えてきたこともあって「コミセン」という言葉を聞く機会が多くなってきたのですが、正直「コミセン」がどういうところでどういう活動をしているのかは全くわからないでいました。

今回の研修を通じて、「コミセン」活動の果たしている役割が地域のあらゆる活動において大変重要であることを認識できました。

史跡資料の作成においては、郷土愛を高めてもらおうという、コミセン職員の方の思いを感じる中で、こうした地道な活動を通じて若者が地元に戻ってくるきっかけ作りになるのだなと思うと、その作業に非常にやりがいを感じました。

パソコン教室の指導を通じて、主婦、高齢者の方のいきいきとされた顔を見て、コミセンの活動が地域住民の生きがいづくりになっているのだなと感じました。

また、研修の合間には、田村センター長から「コミセン」の果たしている役割、果たすべき役割、都市部や山間部の地域社会のあり方、またそれを支える行政のあり方など、地域に対する思いをお聞きしました。

研修を終えて、この最近の担当業務で直接住民の方と接する機会がなかったこともあり、いつの間にか「住民の方のために働いている」という意識が希薄になっていたことにも気づかされました。

今回の研修は自分にとって「公務職場で働くこと」の本来の意義を改めて思い起こされた感じがします。その点でも大変有意義な研修であったように思います。

最後に、今回の研修で私を受け入れてくださった四絡コミュニティーセンターの田村センター長をはじめ、職員の皆さまに心からお礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

### ④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

(注)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。